

×

避難

新しい避難のかたち

問 市防災危機管理課(近江庁舎) ☎ 52-6630 FAX 52-6930

いつ起るか分からぬ災害。未だに終息のめどが立たない新型コロナウイルス感染症の蔓延。
もし、今、災害が起きたら、あなたはどこへ、どうやって避難しますか。
“自分ごと”として、改めて考えてみてください。
一人一人の備えで地域全体の安心を築きましょう。

STEP1 事前に準備できること



米原市総合防災マップ

まずは、市の総合防災マップ(ハザードマップ)で、地震発生時の揺れの大きさや風水害時の浸水の深さなど、自分が住む地域で想定される災害リスクを確認しましょう。

また、水害の場合、市からの「逃げ時のお知らせ」である避難情報が防災情報伝達システムなどにより伝えられます。特に、高齢者や障がい者、河川や山の近くに住む人などは、この情報を「避難スイッチ」の目安として逃げ遅れないよう避難しましょう。

■市から届く主な避難情報

警戒レベル3

避難準備・高齢者等避難開始

(避難に時間がかかる人やその支援者は避難を)

警戒レベル4

避難勧告・避難指示

(全員、安全な場所へ避難を)

* 警戒レベル1・2は気象庁から届く避難準備を呼び掛ける情報

* 警戒レベル5は既に災害が発生した状況で、市から届く「命を守る行動」の呼び掛け情報

避難先は複数箇所決めておく

□口ナ禍での避難のポイントは「分散避難」です。感染拡大防止のため、少人数で、個別空間を確保することが大切です。そのため、自宅が安全であれば自宅にとどまり、自宅が危険な場合は、親戚や知人の家、近隣の宿泊施設等も含め、予め2~3カ所の避難先を考えておくと安心です。

非常持ち出し袋に追加を

災害時は、疲労から免疫力が低下し、感染リスクが高まります。避難所での万一の不足にも備え、感染対策用品は各自で用意しておきましょう。

- 手指消毒液
断水時も手を清潔に



- マスク
感染しない、させないために



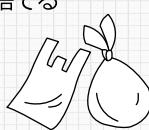
- 体温計
体調の変化に素早く気付けるように



- スリッパ
床に落ちたウイルスからの感染を予防



- ビニール袋
使用済みマスクやティッシュペーパーは袋の口をくくって捨てる



大学時代に阪神・淡路大震災の被災者支援サークルで活動したことをきっかけに、これまで、地震や水害など30カ所以上の被災地で支援活動を展開。

現在は、コロナ禍の避難所のあり方などを示したサポートブックの作成に携わるなど、災害支援の専門家として活動。

今回、教わったのは…

認定NPO法人
レスキューストックヤード
常務理事 浦野 愛さん



伊吹山テレビでも放送!
「コロナ禍での災害対応
新たな避難の対策とは」

- 10月2日(金)~放送
■市公式YouTube
10月5日(月)~公開



STEP2 避難所で一人一人ができること



避難所運営は一人一人の協力で
コロナ禍では、感染拡大を防止するため外部からの現地支援は受けにくいうことが予想されます。そのため、症状のない人や体力がある人はぜひ積極的に避難所の運営に参加しましょう。

一人一人の協力により避難所の衛生環境も早く整い、感染リスクを抑えることができます。

避難所での集団感染を防ぐために

市では市民のみなさんが安心して避難所生活を送れるよう、感染対策用品の確保や、避難所の運営方法の見直しに取り組んでいます。これからの新しい避難所運営に、ご協力をお願いします。



施設に入る前に健康チェック

◆検温、健康チェックシートの記入をお願いします



症状の有無で居住スペースを分離

◆発熱等の症状がある人と症状のない人で居住スペースを分けます



ソーシャルディスタンスの確保

◆段ボールのパーティションや簡易テント等を設置し、間隔を確保します

災害時こそ、思いやりの心を大切に

救援物資やベッドなどは高齢者、障がい者、妊婦等を優先しましょう



Pick Up

感染対策用品を寄贈いただきました



8/28(金)
(株)大気社から
避難所用シェルター5台

◆東京にある本社とリモート寄贈式



9/10(木)
藤田(株)から
マスク30万枚

◆自治会等に配布予定です

Topic

「まいばらシェイクアウト訓練」

地震が起きたときの3つの安全確保行動を身につけるための訓練です。

日時 10月18日(日)8時

場所 その時自分がいる場所
(自宅や職場など)

*市公式ウェブサイトや各庁舎窓口に設置の申込書で事前登録をお願いします

*今年の米原市総合防災訓練は感染拡大防止のため、市職員のみで実施します



防災士資格取得事業補助金対象 自主防災組織リーダー・防災士養成講座

県が実施する「自主防災組織リーダー・防災士養成講座」の受講生を募集します。

日時 ①令和3年1月30日(土)・31日(日)

②令和3年2月20日(土)・27日(土)

場所 ①滋賀県庁 ②聖泉大学

対象 市内在住・在勤・在学で、地域防災活動に関心のある人

定員 ①75人 ②70人※定員を超えた場合は抽選

申込 10月20日(火)までに防災危機管理課へ